

平成27年度「若者の拠点づくり支援」実施市町一覽

No.	実施市町村	地区	日時	会場	講師	内容	参加者	成果・課題
1	平川市	中南	12月10日(木) 13:30～15:30	平川市文化センター	阿保友子 (花蔵屋経営:弘前市)	「オーストラリアのお花で正月飾り!(おとな教室)」 ※フラワー教室をとおした若者のつながりづくり	10名 30代女性中心	通常土曜日に開催していたおとな教室を木曜日に開催したことで、いつもの参加者に加え、初めておとな教室へ参加する方が4名いた。いつもの参加者と初めて参加する若者との新たなつながりのきっかけとすることができた。
2	十和田市	上北	1月19日(火) 18:30～20:30	十和田市東公民館	西谷雷佐 (たびすけ合同会社西谷代表:弘前市)	「(仮)十和田湖の活性化を考える会」 ※思考法の質を上げること等についての講話	8名 20～30代 男性7名、女性1名	参加者は、講師の話を興味深く聞いており、まだまだ聞きたい様子であった。当初、メンバーは6名であったが、今回の企画をきっかけに3名増えて9名になった。今後も同様の取組みを行い人数の増加や団体設立の機会にしていきたい。
3	中泊町	西北	1月31日(日) 14:30～17:30	中泊町総合文化センターパルナス	岡詩子 (つるた街プロジェクト代表:鶴田町)	「いいなかどまり会・活ハマクラブ研修会」 ※講師の実践を聴き、自分たちでできるまちおこしについて協議	14名 20～40代 男性12名、女性2名	後半のおしゃべりコーナーでは、多数の質問が出て活発な研修となった。研修会終了後には、みんなが名刺交換をし、今後の「つるた街プロジェクト」と、「いいなかどまり会」の交流につながるものと感じた。
4	六戸町	上北	2月27日(土) 10:00～12:00	六戸町文化センター	沼内美加子 (スクール&カフェ友美家副代表:十和田市)	「アロマクラフトづくり(六戸町青年講座～女子力アップ講座)」 ※占星学をツールとしたつながりづくり	13名 20～40代女性	占星学を使ったコミュニケーションが会話のきっかけづくりになり、参加者は大変喜んでた。今回1回の集まりで参加者の皆さんが今後も継続したお付き合いができるかという難しい点があると思うので、今後も継続して事業を行うことで、そのきっかけづくりができるよう町でも考えていきたい。
5	南部町	三八	2月27日(土) 10:00～12:00	南部町立南部公民館	新井山成雄 (県ふるさと食品人材バンクアドバイザー:南部町)	「郷土料理を受け継ごう」 ※南部町の伝統料理「かけ・つけ」をとおした食文化の体験と継承についての協議	14名 20～40代 男性8名、女性6名	共同での「ものづくり」により地域性や各家庭の食生活、食文化の違いなど自然に会話生まれ、青年同士のつながりが広がり、深まったと思われる。また、郷土料理を学ぶことにより、自分の生まれ育った地域や住民同士のつながりの大切さを考える機会となった。
6	板柳町	西北	3月6日(日) 9:30～12:00	板柳町多目的ホールあぶる	岡詩子 (つるた街プロジェクト代表:鶴田町)	「未来の板柳町が輝くために！」 ※講師の実践を聴き、自分たちでできるまちづくり・まちおこしについて協議	7名 20代 男性3名、女性4名	今回の参加者は、「大学生」、「会社員」、「農家」、「フリーター」等様々であった。年代的には同世代であったため、質疑応答では活発な意見交換が行われた。当を得た質問が多く、講師も体験談を交えながら詳しく説明していた。参加者は、かなり刺激になったようで、会議前と会議後では顔つきが変わったように思われた。会議終了後も参加者同士意見交換していたので、具体的に町のために「〇〇がしたい」と自ら考えた意見が出てきそうな雰囲気であったので、次につながる研修となった。
7	五所川原市	西北	3月6日(日) 13:00～15:30	五所川原市中央公民館	高橋隆子 (カッチャートプロジェクト代表:青森市)	「子育てハッピーペアレンツ～カードコーチングで自分に気づく～」 ※カードを媒体に自己承認・他者承認・相互理解を体験	9名 20～40代 男性2名、女性7名	自分が選んだ1枚のカードを通じて、参加者は初対面でも和気あいあいとコミュニケーションをとることができ、子育ての新たなつながりができた。核家族化・情報化が進む中、自己承認の大切さを学ぶとともに、他者に直接承認されることの心地よさにも触れ、子育てを見つめ直す良い機会となったようである。また、このような研修の機会を設けていきたい。
8	鱈ヶ沢町	西北	3月7日(月) 18:00～20:00	鱈ヶ沢町立鱈ヶ沢中学校第二体育館休憩室	工藤一幸、佐藤昭司、加藤隆之 (蒼海海鳴り太鼓保存会OB:鱈ヶ沢町)	「蒼海海鳴り太鼓」演奏講習会 ※27年9月に復活した「蒼海海鳴り太鼓」の演奏と振り付けをとおした若者のつながりづくり	17名 蒼海海鳴り太鼓保存会員20～40代 男性10名、女性7名	お互いの音(演奏)を意識しながら、程よい緊張感もありつつ楽しく練習(交流)ができた。講師(OB)も一緒に演奏し手本を示すことにより、音のメリハリや振り付けなどが向上し、普段より気合の入った練習となった。OBの方々の指導を受け、町の財産と人とのつながりを実感できるものとなった。今後は、地域イベント等で住民に向けた発表の機会を設けるなどし、会員増加、更なる連携強化、モチベーションの向上につなげていきたい。
							合計 92名 男性42名 女性50名	